

祐天寺駅周辺地区整備構想

概要版



令和元年 7 月
目 黒 区

1. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定の背景と役割

策定の背景

「目黒区都市計画マスタープラン（平成 16 年 3 月策定）」で、祐天寺駅周辺地区（以下「本地区」という。）は、「商業施設をはじめ地域コミュニティを支える多様な都市機能、子どもから高齢者まで、だれもが利用しやすい道路や公共施設が整備され、日常的な活動や交流の中心となる拠点」として地区生活拠点に位置づけられています。

また、本地区の一部は老朽化した木造住宅が密集しており、「上目黒・祐天寺地区」の一部を対象に昭和 62 年度から平成 18 年度までの期間に木造住宅密集地域整備事業を活用し、不燃化の促進、オープンスペースの確保、生活道路の整備により災害に強い街づくりを進めてきました。また、近隣商店街にふさわしい建物の整備・誘導を目的とした「祐天寺栄通り地区地区計画」が平成 2 年 1 月に策定されました。

平成 25 年度から平成 30 年度まで、祐天寺駅改良工事（通過線新設工事・駅舎改修）及び駅ビルの建設で、改札口が増設され、駅周辺の歩行者動線が変化しています。平成 29 年度に駅周辺の地域住民による「祐天寺ロータリーを考える会」が結成され、平成 29 年 6 月に駅前広場の整備実現に向けた要望書を目黒区へ提出しました。

目黒区は平成 30 年度に、これらの本地区における街なみの変化や取組を踏まえ、「祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会」を立ち上げました。この中で、区民の方々の意見を反映しながら地域特性や課題を把握し、具体的な市街地整備の展開を検討し、地区の実情に即したきめ細やかな街づくりを行うため、「祐天寺駅周辺地区整備構想（以下「整備構想」という。）」を令和元年度に策定しました。

この整備構想は、今後の本地区における街づくりの根幹を成すものであり、この内容を地元の方々と共有しつつ、地域住民、関係機関等と連携して、本地区の街づくりを進めていきます。

役割

- 本地区の状況を把握し、街の変化に対応できる内容として、今後、取組むべき街づくりの基本的な方向性を示します。
- 本地区の将来像を定め、目標や街づくりの方向性に基づいて具体的な取組ができるように計画を体系化します。
- 地域のつながりを深めるため、街づくりに関わる様々な人たちが意見交換・交流する場を設け、地域コミュニティを活発にして街づくりが効果的に進められるようにします。

目標年次

整備構想の目標年次は、概ね 10 年後とします。
なお、社会経済情勢の変化などに合わせ、必要に応じて見直します。

地区の範囲

整備構想の対象範囲は、祐天寺駅を中心とした概ね半径 500m の範囲内※ とします。

町丁別では、祐天寺 1・2 丁目、五本木 1・2 丁目、上目黒 2・4 丁目、中目黒 5 丁目、中町 2 丁目、中央町 2 丁目の 9 町丁目の全域又は一部が対象となります。

※本地区は、目黒区都市計画マスタープランにおいて地区生活拠点に位置づけられるとともに、目黒区交通バリアフリー推進基本構想（平成 24 年 3 月）では、駅からの徒歩圏内の主要施設間の経路や概ね 500m 圏内に立地する商店街を主な対象としており、他の整備計画等でも概ね半径 500m 圏を対象範囲としています。これら区の計画等との整合を図り、本地区の対象範囲としました。

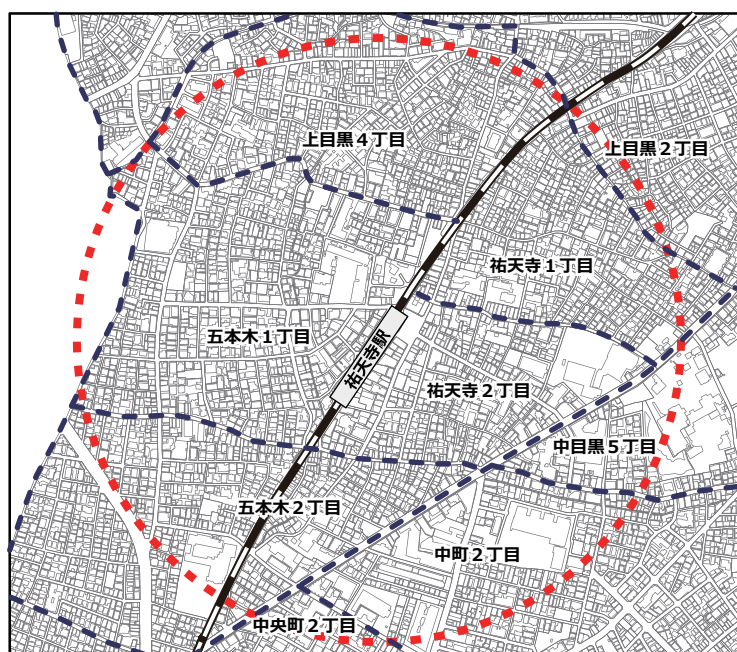


図 対象範囲